福祉だより
ぬくもり

第40号
平成20年8月27日

西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長　蘆田 敏郎

盆踊りに参加して

広報部　日高昭夫

新興住宅街である北六甲台の住民にとっては、盆踊りは年間を通じて最大のイベントではないだろうか。一ヶ月以上前から自治会を中心に関係団体あげての準備が始まる。子供たちが描いた案内ポスターが、住宅街のあちこちに掲示される。自治会員に事前に配られたプログラム、百円の金券、抽選券が、参加を促している。

三時過ぎに一時的に集中豪雨に見舞われたが、夕方には、グランドは適度な湿り気を帯びた絶好のコンディションとなった。

校庭中央の紅白幕に覆われた櫓を中心に、四隅に張られた提灯の列が空に浮かぶ。

会場回りに設けられたテントでは各団体が出店する夜店が並ぶ。日頃は独自に活動している団体やグループが、盆踊りという地域一体の行事に向けて見事に力を合わせている。

五時半から、ボランティアグループによる子供の広場がスタートした。昔ながらの手作り玩具の材料が作り方を添えて子供たちに配られる。六時には夜店が開店し、参加者たちの踊り前の腹ごしらえに貢献する。六時半には北六甲台のグループ・磨人のよさこい踊りが今回初めて披露された。

七時前、自治会長の開会挨拶を皮切りにいよいよ盆踊りが始まった。「炭坑節」をはじめ「どらえもん音頭」「河内男節」など盆踊りの定番曲に加え最新のヒット曲、ジェロの「海雪」などが次々と流れる中、櫓を囲む踊りの輪が広がっていく。

途中、山田西宮市長をはじめとした来賓挨拶があり、続いて抽選会に移る。当選者が次々発表され、本部席に集まった参加者たちの歓声と溜息を誘っている。幼児へのお菓子プレゼントも終え、後半の盆踊りも佳境を越えた。徐々に人ごみが薄れ、会場の熱気が鎮まる中、九時一五分頃にようやく長かった盆踊りが終了した。

北六甲台の盆踊りも二三回目を数えた。既に多くの子供たちがこの街から巣立っていった。ふるさと意識の希薄な新興住宅街に育った彼らにとって、盆踊りはふるさとがになったのではないか。

北六甲台に移り住んだ大人やお年寄たちにとっては、故郷の懐かしい思い出を甦らせるよすがになったのではないか。

今年度第１回ボランティア研修会

ボランティア実践者の体験談

副分区長　溝口恵子

7月3日（水）、自治会館で今年度第１回目のボランティア研修会が行われました。

始めに、ふれあい喫茶のボランティアをされている棚原理恵子さんからご自身の体験談をお話しして頂きました。

棚原さんはお母さんの看病をするかたわら様々なボランティア活動に参加されています。特に歌を通してのボランティア活動は、訪問する先々で大変喜ばれ、そのことがご自身の喜びとなり、これからも自分のペースで一生続けてい

次に、蘆田分区長から、この地域の老齢化に伴うボランティアの必要性、その在り方や心構えについてお話がありました。

「ボランティアは、無理をせず、自分に合ったことを細く長く続けていくことが何より大切だ」とおっしゃっていました。

この地域が住む人にとって、居心地のよい場所になるよう、それぞれが努力していかなければと感じました。

ご案内

第3回（平成20年度）敬老の集い

開催日	平成２０年９月２０日（土）
時間	午後１時～３時
会場	北六甲台小学校・体育館

寄稿

私と絵てがき

大西　美沙江

歩行困難になって二年あまりになる。最初は驚き、戸惑いにくれた。二、三日過ぎ、何か私に出来る事をしようと考え歩行器と杖を駆使してやってみた。時間はかかったけれど出来る。「いくらノロノロしても手を出さないで！」と娘に頼んだ。

ある日、テレビを観ていると、絵てがみを楽しく描いている人がいた。私も「やってみよう」と思い、近くの教室を探した。公民館にあったのでボランティアの方に送迎をお願いする事にした。年齢を考えると気後れはあったが、初日、先生や皆様が笑顔一杯で迎えて下さり、とても安心し、また楽しかった。

月二回参加したが、五回目の時、公民館の階段を上がる事が出来なくなり「次からのお迎えは要りません」とボランティアを断った時の情けなさは忘れる事ができない。今は教室の皆さんの事を考えながら一人で描いている。

もともと不器用な私なので、人様にお見せできるものは描けないけれど、友人、知人に恥を忍んで、折に触れ絵てがみを送っている。その後には温かい心が返ってくる。

私は八二才。生きている限り絵てがみを描き続けたいと願っている。

いつも前向きで周りの人を元気にしてくれる大西さん。
これからも絵てがみで心の交流を続けてくださいね！

ボランティアセンターは困った時の相談窓口です。
ボランティアさんにお願いしてできるだけお力になりま

お知らせ

ふれあい喫茶

■北六甲台自治会館
第2水曜日 午後1時～3時半
（開始時間を早くしました）
■上山口安心プラザ

ともだちつくろう

北六甲台コミュニティセンター
第4金曜日 午前10時～12時
未就園児とその保護者が対象です。

自由にご参加下さい！お待ちしています。

救命救急講習会

ＡＥＤ操作の初体験

広報部　黒瀬洋子

六月二十八日(土)、市の北消防署山口分署から四名の署員に来て頂き、社協北六甲台分区主催の救命講習会が行なわれました。

当日は、北六甲台小学校のオープンスクールと重なりましたが、たくさんの方が参加されました。

署員の丁寧な説明を受けながら実技を体験しました。

まず、倒れた人を見つけた人が、反応を見て大声で周りに助けを求めます。一一九番通報に加えて、ＡＥＤ(自動体外式除細動器)が近くにないか探してもらいます。

救急車が来るまで肋骨圧迫と人工呼吸を繰り返します。ＡＥＤがくれば、もう一人がＡＥＤをセットします。ＡＥＤの取り扱いは、電源を入れると音声メッセージが流れるので、初めての人でも安心して操作できます。

講習で一連の実技を体験したことで、いざという時の自信に繋がったのではないでしょうか。

北六甲台周辺では、分署はもちろん、支所、病院、北六甲台小学校にＡＥＤが備えられていますが、もっと身近にあれば緊急時にも救われる

ＥＤ

社協会員会費

ご協力ありがとうございました

個人	476口	238,000 円
企業	17口	85,000 円
合計		323,000 円